



ストーリー・コンサート 弦楽四重奏で紡ぐ

生きる喜びと悲しみ



クラシック音楽に親しむ講座 Vol.34

PROGRAM

モーツアルト：弦楽四重奏曲第17番「狩」

シューベルト：弦楽四重奏曲第14番「死と乙女」ほか

2023.7.28 [FRI] OPEN 13:30 / START 14:00

上田市交流文化芸術センター サントミューゼ 小ホール 一般：3,000円(全席自由)

●JR北陸新幹線・しなの鉄道・上田電鉄別所線「上田駅」から徒歩約7分 *未就学児の入場はご遠慮ください *諸般の事情により、曲目が変更となる場合があります

チケットの
お求め方法

▼下記にて、なるべく事前にお買い求めください

サントミューゼ 平安堂上田店 ヒオキ楽器上田店 あさかわ(丸子)
小諸ガス(相生町) ヒオキ楽器佐久平店 西澤書店(野沢)
軽井沢大賀ホールチケットサービス 0267-31-5555(10:00~18:00)

【インターネット】イープラス
【郵送】直接、事務局へお申し込みもできます。事務局にお電話ください。
「クラシック音楽に親しむ講座の会 事務局」 和田 090-9844-9401

■5/15(月)より販売：長野市芸術館チケットセンター 026-219-3191 (10:00~19:00/火曜定休)

蚕都上田・リベラルアーツ音楽祭とは

LIBERAL ARTS MUSIC FESTIVAL



長野県上田市は、養蚕で近代日本の礎を築いた町のひとつに数えられます。当時から蚕都と呼ばれ、たいへんな隆盛を極めました。外国との貿易も行き、横浜との行き来の為に交通も発達し、同時に西洋の文化も早い時期から入ってきました。

蚕都上田は、やがて一般の農村青年達の“学びたい”という気持ちが集まり、全国で初めて「自由大学」を生み出し、哲学や文学などの学びを自らが欲しました。私たちは、市民で創る音楽祭を「蚕都上田・リベラルアーツ音楽祭」と名付けました。ギリシャ時代からのリベラルアーツ～芸術で自由を得る～自由7科の中に音楽が含まれていたことと、蚕都上田の自由大学の精神とを融合させてクラシック音楽のコンサートシリーズを開催しています。

蚕都上田で「クラシック音楽をプロによる生演奏で鑑賞することを楽しんでいきたい、多くの皆様と同じ時間・同じ空間で感動体験を重ねたい」と願っております。

*令和4年度長野県地域発元気づくり支援金事業により「蚕都上田・リベラルアーツ音楽祭」が誕生しました。

♪ ヴァイオリン 赤池 瑞枝 (あかいけ・みずえ)

長野県大町市出身。東京芸術大学音楽学部器楽科を経て同大学院修士課程修了。在学中、東京芸術大学オーケストラと共に第1回東京室内楽コンクール第3位入賞。第6回日本室内楽コンクール入賞。

1999年、2008年リサイタルを開催。これまでに、鈴木鎮一、森ゆう子、浦川宜也、矢嶋佳子の各氏に師事。室内楽奏者、オーケストラ奏者として活動している。現在、読売日本交響楽団団員。



♪ ヴァイオリン 対馬 哲男 (つしま・てつお)

東京芸術大学音楽学部器楽科卒業後、同大学音楽研究科修士課程修了。三義地所賞、アカンサス音楽賞受賞。読売新人演奏会、藝大室内楽定期演奏会、JTが育てるアンサンブルシリーズ等に出演。第22回かな

がわ音楽コンクール最優秀賞、神奈川県知事賞受賞。第60回全日本学生音楽コンクール全国大会第一位。第23回リゾナーレ室内楽セミナー 優秀賞。現在読売日本交響楽団次席第1ヴァイオリン奏者。



♪ ヴィオラ 正田 韶子 (しょうだ・きょうこ)

1994年神奈川県横浜市出身。桐朋女子高等学校(男女共学)を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業。18歳より佐々木亮氏に師事、ヴィオラの指導を受ける。2013年ザルツブルク=モーツアルト国際室内楽コンクール第1位。翌14年にザルツブルクのミ

ラベル宮殿にて演奏。別府アルゲリッチ音楽祭、小澤征爾音楽塾などに参加。大学在学時にオーディションを受け、2017年より読売日本交響楽団ヴィオラ奏者。現在はオーケストラの他、室内楽など様々な分野に活動の幅を広げている。



♪ チェロ・お話 渡部 玄一 (わたなべ・げんいち)

東京藝術大学附属高校を経て、桐朋学園大学卒業。同校研究科卒。1993年米国ニューヨークのジュリアード音楽院卒。ニューヨーク在住中には国連総本部やリンカーン・センターなどで数度に渡りリサイタルを開催、好評を博す。米国インディアナ大学でさらに研さんを積んだ後、95年帰国。以来、NHK-BS、NHK-FM出演をはじめ、ソリストとして、また室内楽、オーケストラ奏者として幅広く活躍している。2003年より文化庁海外派遣員として一年間ドイツのミュンヘンにて研修。08年東京アンサンブルギルド設立。通常のコンサート活動以外にも日本各地を訪れ200

校以上の学校を訪問し、また介護施設、養護学校、少年院等の訪問演奏も積極的に行っている。ストーリー・コンサートという新しいコンサートスタイルを生み出し、注目を集めている。チェロを主に堤剛、木越洋、H.シャビロ、W.ノータスの各氏に師事。現在、読売日本交響楽団団員、及びフェリス女学院講師。著作に『知的生活の方法—音楽編』(共著、ワック出版)、『ワタナベ家のちょっと過剰な人びと』『明朗であれ 父、渡部玄一が遺した教え』(海竜社出版)などがある。2011年7月、ファーストアルバムCD「It's Peaceful Here ここは良きところ」をリリース。

